

おぎくぼ

題字 学校運営協議会委員 穂苅真里子様

2月号

令和4年1月31日

杉並区立荻窪小学校

TEL 3333-6628

<http://www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/>

「肌感覚」「心感覚」を大切にした教育

副校長 加藤 路恵



興味のある方は、理科室をのぞいてみてください。

3年ほど前、旅行先でのことです。お土産物屋のレジ脇をふと見ると、水を張ったお皿に1枚の葉が入れてありました。その葉の縁からは小さな芽がいくつも出ていて、なんとも愛らしく見えました。「マザーリーフ、育ててみませんか」の誘い文句に乗って、3枚100円のマザーリーフを買って帰ってきました。「上手に育てると幻の花が咲きます」とも書いてありました。

マザーリーフの正式な名前は「セイロンベンケイ」。アジア熱帯～亜熱帯を原産地とする多肉植物で、日本でも南西諸島や小笠原諸島で見ることができます。葉っぱから芽が出るから「ハカラメ」「コダカラソウ」とも呼ばれます。

さっそく家とそして学校でもマザーリーフを皿に入れてみました。1週間ほどすると小さな芽が出てきます。5～6cmほどになったら鉢に植え替えて大きくするように育てます。鉢植えの中で30cmほどまで育つものがいくつかありました。しかし、それ以上大きくはなりません。

3年目の今年度は、もっと上手に育てたいと思い、理科支援員に相談しました。そして、理科室のプランターで肥料を入れた土に植え替え、理科室のテラスでたっぷりの日差しを浴びて育てることにしました。すると、瞬間に大きくなりました。茎が太くなり、葉が大きくなり、次々と新しい芽を出し始めました。一株が三株になり、元気に暑い夏を越えました。

いよいよ冬になりました。熱帯地方の植物なので、寒さに弱いので、霜が降りる前に、日当たりのよい室

内に入れました。すると、ぐんぐんと背を伸ばし始めました。ある時、ふと見ると、太い茎から葉とは違うものが始まりました。それが花芽でした。そして冬休み、ピンク色のスズランのような、提灯のようなかわいらしい花が咲きました。まさか「幻の花」と言われている花が咲くとは…。実際に本物を目の当たりにした時の心に響く感動は何とも言えないものでした。

現代社会は、インターネットを使えばどんな花なのか、どうやって育てるのか、容易に調べ、写真や映像でその姿を見ることができます。理科支援員も育て方を調べ、水をあげたり、室内に入れるタイミングをはかっていたりしてくれていました。しかし、「実際に育てる」「実物を見る」「本物に触れる」という体験や経験はインターネットの世界では味わえません。

荻窪小学校では、GIGAスクール構想を推進する一方でこのような「肌感覚・心感覚」を大切にした教育活動を進めています。書を通して心を育てる「言葉のチカラ」、エコシステム校舎を最大限活用した「環境学習プログラム」、「日本の伝統文化にふれる」体験や鑑賞などです。肌で感じたこと、心を動かされたことなどから探究心も生まれ、主体的な学びへとつながると考えます。私は今、「葉から芽が出るマザーリーフの花からも種が取れるのか」ということを知りたいと思っています。

新型コロナウイルス感染者数が急増しています。学校では、引き続き感染防止に努めながら教育活動を行ってまいります。ご家庭でもお子様の健康管理をどう

ぞよろしく願います。



6年「狂言鑑賞」

教科書で学んだ「柿山伏」を実際に見ることができました。日本に伝統的に伝わる文化についても学びました。

「コロナ禍の給食」

新型コロナウイルス感染症が広がる中、学校給食はどのように変わったのかを皆さんに紹介したいと思います。昨年度の6月から杉並区の学校給食は再開されました。6月の1週目は分散登校でした。クラスで早く登校する児童と遅く登校する児童に分けて学習をしました。給食も11時30分に出すグループと12時20分に出すグループに分けて調理し提供をして給食が始まりました。内容は区内の多くの小学校では弁当箱に入れた給食が提供されました。中学校では弁当と食器の数が少なくて済むカレーライスや中華丼のような給食が半々ぐらいでした。

文部科学省・東京都・杉並区教育委員会から求められた給食は、感染を広げないことを目指すということでした。学校ではマスクを外す行為は、給食しかありません。そこで感染を広げてしまっては給食を提供できないことになります。まず、第1に考えたことは、喫食する児童の間隔を1m以上保つこと、飛沫がかからないように給食を食べることでした。「前向き給食」そして「黙食」です。未だかつて像もしなかった給食形態でした。第2は、なるべく児童・生徒が給食の配膳に関わらない（給食当番の人数を減らす・食器具の数を減らす）ことでした。給食のメニューの見直しや、丼物やカレーライス・チャーハンなどの主食と主菜が一緒になった料理が多くなりました。これでは、子供たちの健康維持のために栄養素が確保できないなど毎日が悩みの連続でした。配膳を楽にするため、給食室で盛り付けできるところまで、できるだけ盛り付けることにしました。どのように変わったか紹介します。

ビビンバでは、野菜・肉・たまご・みそだれがセットになっています。今までの給食では、教室でお皿にごはんをのせたら、バット①（下の写真）の容器から当番の子が野菜をのせ、次の子が肉をのせ、次の子が炒り卵というように多数の当番が関わり盛り付け①をしていました。現在ではバット②（下の写真）で一人の当番が全ての具をのせることができ盛り付け②（下に写真）のようになります。このようにすると食べきれない児童がいたり全く足りない児童がいたりして残食が非常に増えていました。今は、全てよそわずお代わりをしていいことにしました。ただし、教員によそってもらうことにしました。そして、教員も感染しないことが求められます。児童と対面せずオープンスペースや教卓を斜めにするなど感染予防を考えて食事をとっています。

オミクロン株の流行でまだまだ先が見えない新型コロナウイルス感染症対策ですが、給食から感染が広がらないよう今後もしっかりと対策をしていきたいと思っています。

栄養教諭



バット①



バット ②



今まで盛り付け①



現在の盛り付け②

幼保小交流

幼保小交流担当

荻窪小学校の新1年生として来年度から入学してくる園児との交流を1年生や5年生で行います。しかしながら、感染症対策予防として直接交流が昨年度より難しい状況が続いています。そのため、宮前保育園・荻窪保育園・にじいろ保育園・宮前おおぞら保育園・アウル宮前保育園の先生方と、今後の交流の仕方について話し合いを行いました。

幼保小の交流をできる限り行えるように、今年度は保育園から小学校へ学校に関する質問を送ってもらうことにしました。そして、現1年生がお姉さんお兄さんとして手紙で答える交流をしたいと計画中です。保育園の子供たちが、この交流を通し新1年生としての自分の姿がイメージできることを期待しています。1年生にとっては、2年生になることへの自覚をもつための良い機会となります。新しい1年生を優しく迎えようという気持ちを持ち、また一つステップアップしてほしいと思います。

小中学生環境サミット

環境コーディネーター

1月29日(土)、杉並区役所において小中学生環境サミットが行われました。今年度も感染状況から、区内7校の小中学校が各校の活動を動画でまとめ、上映する形となりました。荻窪小は、環境委員会の取り組みを「生き物に触れ合うビオトープ」というテーマで発表しました。委員会活動の時間という限られた時間の中でしたが、土を耕したり落ち葉を混ぜたりして土を豊かにすることや、池の掃除、草刈り、種植えなどに取り組み、生き物ともしっかりとたくさん触れ合えるビオトープを目指してきました。昨年度よりも少しずつ生き物が増えていることに喜びややりがいを感じている子供が多かったです。

ご来校の際は、是非ビオトープにも足を運んでみてください。



家庭科の時間の様子（食育）

家庭科担当

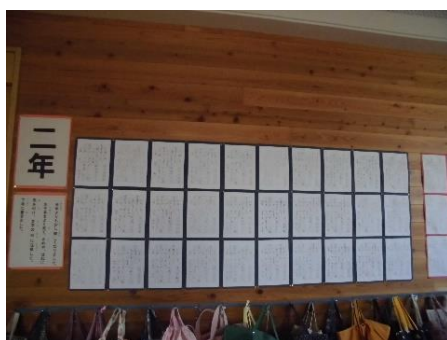
現在、新型コロナウイルス感染症拡大により食育は行いにくい状況になっています。その中でも、11月から12月にかけて家庭科の授業で調理実習を行うことができました。調理実習は家庭科の学習の中で子供たちがとても楽しみにしていたものの一つです。5年生は鍋でご飯を炊き、みそ汁を出汁から作りました。ご飯をおいしく炊くには火加減がポイントです。ガラス鍋の中の様子をじっくりと観察しながら火力を調節し炊くことができました。6年生はクラスで主菜、副菜、汁物を選択し調理しました。昨年も感染症対策のため、本格的な調理実習を行うことができなかった中で、班で協力して調理計画を立て、今まで学習した、ゆでる、炒めるなどの技術を使って調理することができました。「おいしい」と言っていた班もあれば、「ニンジンがゆでる時間が短かったな」と気が付いた班もありました。これからも、この経験をそれぞれの生活に生かしてほしいと思います。

書き初め展

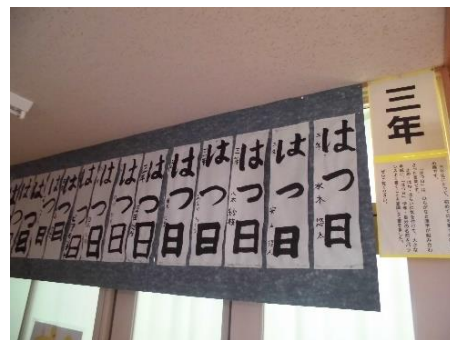
今年度の書き初め展は、1月17日(月)～28日(金)の2週間で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業終了後から放課後までの短い時間でしたが、多くの保護者の皆様に鑑賞いただき、ありがとうございました。作品をご覧になり感想はいかがだったでしょうか。子供たちは、手本をよく見ながら一文字一文字丁寧に集中して書く姿が見られました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

2月の行事予定

授業日数 19日

日	曜	朝	学校行事・児童会活動等	授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火	安全指導		5	6	6	6	6	6
2	水		クラブ活動	5	5	5	6	6	6
3	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
4	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
5	土								
6	日								
7	月	全校朝会	新1年生保護者会	4	5	6	6	6	6
8	火	朝学習		5	6	6	6	6	6
9	水		研究授業(3年4組、4年1組)	4	4	4	4	4	4
10	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
11	金		建国記念の日						
12	土								
13	日								
14	月	全校朝会	理科出前授業(4年)	5	5	6	6	6	6
15	火	朝学習	なかよし班活動 縄跳び体験授業(5、6年)	5	6	6	6	6	6
16	水			4	4	4	4	4	4
17	木	児童集会		5	5	6	6	6	6
18	金	朝学習		5	5	5	6	6	6
19	土								
20	日								
21	月	全校朝会		5	5	6	6	6	6
22	火		水曜時程 委員会活動	5	5	5	5	6	6
23	水		天皇誕生日						
24	木	朝学習	なかよし班活動	5	5	6	6	6	6
25	金	朝学習	6年生を送る会	5	5	5	6	6	6
26	土		授業参観 2年:馬頭琴コンサート 4年:言葉のチカラ 6年:模擬投票出前授業	3	3	3	3	3	3
27	日								
28	月	全校朝会		5	5	6	6	6	6

《主な行事》

◆馬頭琴コンサート

26日(土)に2年生の馬頭琴コンサートがあります。ゲストティーチャーをお迎えし、体育館で馬頭琴の生演奏を聴きます。

◆クラブビデオ視聴

3年生のクラブ見学は、感染症予防のため、今年度は行いません。事前に各クラブで撮影した紹介ビデオを3年生が教室で見て、来年のクラブ活動を決めていきます。

◆縄跳び体験授業

15日(火)に5・6年生が、縄跳びの授業を行います。縄跳び名人の方をゲストティーチャーにお迎えし、演技を見せていただいた後に、ご指導いただきます。

◆6年生を送る会

25日(金)に、6年生を送る会を行います。体育館で待つ6年生に、入れ替わりで1学年ずつ出し物をする予定です。最後には、オンラインを使い、6年生の出し物を1～5年生が各教室で見ます。それぞれが感謝の気持ちをしっかり伝えます。

◆授業参観

延期になった授業参観を2月26(土)に行う予定です。

◆予告なしの避難訓練があります。

